

大変お世話になっております。国際公共調達情報プラットフォームの事務局です。

国際公共調達情報プラットフォームのメールマガジンの第 16 号をお送りします。

.....

■本号の内容

・「Unitaid：アフリカで拡大する抗マラリア薬耐性リスクへの緊急対策に資金提供、提案の募集」

・「メルマガバックナンバーの追加」

.....

Unitaid からのお知らせ、提案の募集をお知らせします。

.....

■「Unitaid：アフリカで拡大する抗マラリア薬耐性リスクへの緊急対策に資金提供、提案の募集」

Unitaid から以下のお知らせ、提案の募集がありましたのでお知らせします。

-----

新型コロナウイルス感染症により、その大流行前からすでに進展が頭打ちとなっていたマラリア対策が後退する事態となりました。12月8日に発表された最新版「世界マラリアレポート」では、マラリアの発症と死亡例のほとんどを占めるアフリカ全土で主流かつ最良のマラリア治療薬に含まれる主要化合物に対する耐性の脅威が高まっていることが強調されています。

ユニットエイドではこの迫り来る緊急事態への対応として、最も広く使用されているマラリア治療薬への依存度を下げて抗マラリア薬耐性という脅威の軽減を可能にするための実施案となるプロポーザルを募集しています。こうした取り組みは、開発パイプラインにある有望な抗マラリア治療薬代替候補の有効性を維持するためにも極めて重要です。

世界保健機関（WHO）は現在、アルテミシニンにパートナードラッグが組み合わさった6種のマラリア治療薬を推奨しています。しかし、アルテミシニンに対する部分的耐性がすでにアフリカ全域で出現していて、薬の有効性が脅かされたり、治療が完全に失

敗したりというリスクが高まっています。

アフリカ大陸全体では、1種類のアルテミシニン併用治療が突出して広く採用されています。アルテメテル・ルメファントリン錠と呼ばれるこの薬は、国の政策ガイダンスに複数の代替薬が含まれているにもかかわらず、アフリカ 30 か国のマラリア治療にはこの薬しか使われていません。また、ドナーからの資金による調達システムを通じて購入される抗マラリア治療薬全体の 80%を占めているのもこの薬です。

しかし、パートナードラッグのルメファントリンは、開発パイプラインにある最も進んだ非アルテミシニンベースの治療薬に使用されている 2 剤のうちの 1 剤でもあり、すでに拡大しているアルテミシニン部分耐性の脅威がルメファントリンに対する耐性の急速な広がり引き金となって、新しい治療の将来性が暗礁に乗り上げる可能性があります。

他のマラリア治療薬へのシフトチェンジは、この命を救うマラリア対策ツール・ルメファントリンの有効性を維持し、将来の新たな技術の有効性を確保するためにも非常に重要です。

ユニットエイドは、市場の多様化とコストダウン、さらに供給障壁に対処して効果的代替治療の取り込みを促進することで、1種類のみ薬への依存度を低減できるような介入に資金提供します。

プロポーザルは、アルテミシニンへの耐性がすでに検出され、アルテミシニンベース治療効果の低下がみられるアフリカ諸国や、またはマラリア感染の高負担にあって耐性のリスクが高い国々を念頭に置いたものとしてください。

プロポーザル募集の詳細：

<https://unitaid.org/call-for-proposal/mitigating-antimalarial-drug-resistance-in-africa/#en>

<<https://unitaid.org/call-for-proposal/mitigating-antimalarial-drug-resistance-in-africa/#en>>

プロポーザル受付期限：

2023 年 3 月 13 日まで

ユニットエイドについて：

ユニットエイドは、低・中所得国で病気をより早く、より安価に、より効果的に予防・診断・治療するための革新的ソリューションを特定する国際保健機関です。その活動には HIV/エイズ、マラリア、結核などの主要疾患、HIV 重感染、子宮頸がんや C 型肝炎などの共存症、さらには発熱対策などを対象とした分野横断的取り組みへの資金提供も含まれます。ユニットエイドは現在、ACT アクセラレーター (Access to COVID Tools Accelerator) のキープレイヤーとしてその専門知識を結集し、パンデミックと闘うための新しい治療法や診断法の開発という課題に取り組んでいます。

ユニットエイドは、世界保健機関 (WHO) の傘下にあります。

<https://unitaid.org/#en> <<https://unitaid.org/#en>>

.....

次に、国際公共調達情報プラットフォームのメルマガバックナンバーの追加についてお知らせします。

.....

■ 「メルマガバックナンバーの追加」

メールマガジン第 13 号～第 15 号をプラットフォームに追加致しました。必要に応じてご参照頂ければ幸いです。

[https://ippip.jp/content\\_7.html](https://ippip.jp/content_7.html)

.....

本号は以上となります。

国際公共調達に関するご相談をお待ちしております。相談内容は、事務局より回答を差し上げることや、内容によりましては、専門家やサポーターからのアドバイスを提供する用意がございます。また、ご相談の内容に応じて、秘密保持契約 (NDA) を締結する準備もいたしますので、具体的なご相談をぜひお寄せくだされば幸いです。

相談はプラットフォームの専用フォーム (「相談申し込み受付中」のバナーより) から、

ないしは事務局（ipp@nri.co.jp）まで直接お問い合わせください。

引き続きよろしくお願い申し上げます。

----

お問い合わせ先：株式会社野村総合研究所内 国際公共調達プラットフォーム事務局  
Email: ipp@nri.co.jp （窓口担当：小池）

本メールマガジンのバックナンバーは次のサイトよりご確認ください。

[https://ippip.jp/content\\_7.html](https://ippip.jp/content_7.html)

配信停止をご希望される場合は、お手数ですが「配信停止希望」と件名に入力の上、事務局（ipp@nri.co.jp）までご連絡をお願い申し上げます。

本事業は「令和4年度開始厚生労働省委託事業」に基づいて実施しております。

-----

このメールには、本来の宛先の方のみに限定された機密情報が含まれている場合がございます。お心あたりのない場合は、送信者にご連絡のうえ、このメールを削除してくださいませようお願い申し上げます。

PLEASE READ: This e-mail is confidential and intended for the named recipient only. If you are not an intended recipient, please notify the sender and delete this e-mail.

-----